2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	建築プログラミング小委員会	主 査 名：柳父 行二 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：野城 智也
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>施設の企画・計画における「建築プログラミング」(具体的な施設の設計・デザインを決める前提となる諸条件を抽出・整理していく活動)についてその方法論と効果について調査研究を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度： 文書作成、著作の検討、プログラミングの活動事例や経験をまとめる。 ・2年度： 事例調査の継続。建築プログラミング活動プロセスおよび主体・情報・価値連鎖のモデル化。 ・3年度： 公開研究会の企画、準備。 ・4年度： 公開研究会の実施、資料集の刊行。建築プログラミング教科書の企画。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：あり	
	主査：柳父行二(セカンドカード研究処) 幹事：柳澤要(千葉大学)、柳沢和彦(武庫川女子大学) 委員：安藤亨(三重県)、井上誠(宮城大学)、木曾久美子(福井大学)、児玉達朗(東電不動産)、末廣健一(山陽学園大学)、山田哲弥(清水建設)、学校関係2名、不動産関係1名	
設置 WG (WG 名：目的)	建築プログラミングの展開WG ・小委員会と同時開催し、公開研究会の企画、実施、資料作成などの作業を担当する。 ・調査結果の分析・モデル化などの個別の研究テーマについて、自主的に活動する。	
2019 年度予算	75,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/prg/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	・該当なし
講習会	・該当なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	・該当なし
大会研究集会	・該当なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	・該当なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築プログラミング事例情報・共有：事例・方法の関連文献リストアップ(1500編)。刊行に向け、実務の体系・研究の流れを解説する内容で執筆分担予定。 2. 公開研究会事例の検証：事業目的→組織→業務の流れ→ワーカーの行動、連鎖構築の可用性を事例検証。設計調書記述短絡法と適用限界の検討。 3. 公開研究会：書店・図書館事例で調整、先方都合で不調。教育施設を検討中。
委員会活動の問題点・課題	1. 資料集の刊行：運用実績に基づき建築プログラミングの有用性が評価できる事例に焦点を当て、プロセスと価値を解説できる資料集を目指す。 2. 教科書の検討：資料集で根拠や事例や詳細を参照する構成になるよう検討予定。 3. 建築プログラミング・プロセスや建築物の種別が多岐にわたり、建築プロセス上の捉え方や、事例相互の共通点が見出しにくい。 4. 委員居所が広域であるため、旅費・スケジュールの都合で、全員参加が難しい